

仏教とお寺をやさしく解説

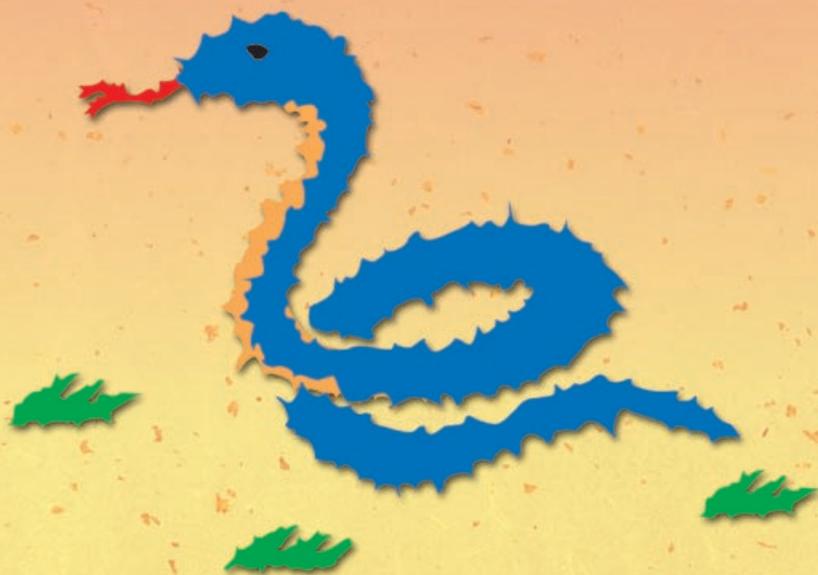
さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2013年1月
第11号
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



「一年を振り返り漢字で表すと…」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／阿弥陀さまとお釈迦さま
実践教室／浄土宗の仏壇

- ・新年開運七草粥法要のご案内
- ・厄払い節分会法要のご案内

毎年十二月十二日には「今年の漢字」が発表されますね。「今年の漢字」は日本漢字能力検定協会のキャンペーンで1995年から開始されました。発表される前には皆さんそれぞれどんな漢字になるのか一年を振り返り予想する方も多いのでは？

この一年を振り返り、皆さんにとっては何んな年だったでしょう？「漢字で表したら？」

西願寺にとって、またご住職にとつての今年の漢字を伺ってみました。



問 早くも平成二十四年が終わりに近づきましたね。毎年思うことですが、今年もやっぱり一年が急ぎ足で過ぎて行ってしまったように感じます。この時期にはどんな年だったかと一年を振り返ることも多いですよ。

ご住職 にとつて今年一年を漢字で表すとしたらどのような文字になりますか？

住職 漢字一文字ではないのですが、私の場合は、昨年から引き続き携わってきた法然上人の八〇〇年大遠忌のメッセージシンボルとなっていた「法然共生」の共生という字になるでしょうか。言葉のもつ意味は、前もお話しさせて頂いたと思います。が、いのちの繋がりが、人の繋がりを表す言葉なんです。私が参加しているロータリークラブでも、活動のテーマとして「奉仕共生」として下に和顔愛語と掲げているんですよ。仏教では、やさしい笑顔と親切な言葉で人を和ませることを和顔愛語と言います、これも大切な布施行だという教えです。お金やものだけを布施とするのではなく、無財の七施のように思いやる心、奉仕する気持ちなどでも施しはできるのです。

東日本大震災をきっかけに、多くの方がボランティアに出かけ「奉仕する」ということとは「考えたのではないのでしょうか？」

奉仕は、人のためにしているようだけれども、自分の為でもある。奉仕活動をすることで自分も育てられ、生かされることに繋がります。共に生かされる、それがとっても大切で、そのことこそ法然上人のいう共生ということなのだと思います。

今年一年を通してお寺では、チャリティーコンサートなどを開催し皆さんにもこの「共生」を感じとっていただけるように

してきたので、やっぱり私やお寺として今年を表す字というのはこの言葉になるのかな。

問 去年の「今年の漢字」は「絆」でしたね。共生は、そこから一歩前に進んだ言葉のような気がします。

住職 そうですね。人は生活をしている中で自分一人で生きていくように思ってしまうのだけれども、そうではなくて、いろいろな人や物事に支えられて生きているんだということが「絆」や「共生」といった言葉になるのだと思います。

問 自分にとっての今年を表す漢字を考えると、一年を振り返りいろいろ考えさせられることも多いですね。

日本人のお正月の迎え方としては、除夜の鐘を聞きながら一年の反省をし、元旦に一年の計を立てるというのがよく言われますが、その為にお寺にお参りに来られる方もいらつしやいますか？

住職 うちが初詣などでにぎわうお寺ではないので特に多くはありませんが

。年末や年始にお墓参りにみえる方はいらつしやいますね。それと七草粥の行事をはじめたのでそれに合わせてお参りにいらつしやったりね。

問 七草粥法要もそうですが、節分法要やコンサートなどお寺での行事で皆さんお墓参りだけでなく気軽にお寺に足を運ばれる機会が増えたのではないですか？ 十月の十三夜お月見コンサートでは二胡の演奏だったそうですね。

住職 はい。今回は、日本人の二胡奏者の野沢香苗さんに演奏をお願いしています。野沢さんは作曲も手がけているのでプロの二胡奏者は珍しいようです。
問 そうなんですか。お寺の本堂はコンサートなどに向いていますし、今後も多くの方に聞きに来て頂きたいですね。



野沢香苗さんと丹羽住職



問 さて、それでは最後に今回は新年号ですので、皆さんに向けたメッセージをお願います。

住職 浄土宗の暦に今月の言葉というのがありますが、今年（平成二十四年度）の暦の中に「三日月も ほんとは、まあいい」というものがありました。三日月も本当はまん丸い月で、人や出来事も見かけだけで判断しないで色々な面から見えてみるのが大事ということですよ。新しい年は、社会的にも慌ただしい年になりそうですね、そんな時こそしっかりといろんな角度から物事を見て判断し落ち着いた気持ちで一年を送って頂きたいと思います。

問 「三日月も ほんとは、まあいい」とてもいい言葉ですね。本日はありがとうございました。新年も宜しくお願います。

「阿弥陀さまとお釈迦さま」

両手のひらを開いているのがお釈迦さまの像で、手印を結び、手で形をつくっているのが阿弥陀さまである。お釈迦さまの仏像と阿弥陀仏の像とを見分けるには、仏像の手に注目すればすぐにわかる。では、仏像以外でのお釈迦さまと阿弥陀さまはどうでしょう。



阿弥陀如来坐像(西願寺)

極楽浄土を建立した阿弥陀さま

「アミダ」とは梵語で「限りない」という意味をもっています。阿弥陀は仏の慈悲と智慧が限りなく人々にそそがれることを表しているのです。

『無量寿経』によると、阿弥陀仏の出自は次のようなエピソードに基づいています。

大昔のインドに、ある国王がいた。彼は仏さまの説法を聴き感激し、自らも人びとの為に尽くしたいと決意して王位を捨てて出家して法蔵比丘と名乗りました。

法蔵比丘は世の中すべての苦しみを救済できる世界を打ち立てたいと願い、限りなく長い徳行の末、四十八の誓願をたてて西方十万億土の彼方に念願の浄土をつくりました。これが、いわゆる極楽浄土です。この安楽の世界で法蔵比丘は阿弥陀仏となりました。

仏教の開祖であるお釈迦さま

お釈迦さまは、ゴータマ・シッタールタといい、インドの釈迦族の王子として生まれた実在の歴史人物です。多くの人々を救うために悟りをひらきブッダ（仏陀）となり教えを広めました。それが仏教です。お釈迦さまが亡くなるとき「私なきあと、みずからを灯明とし、法を灯明とせよ」と語ったといわれています。

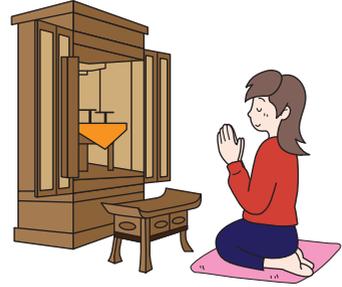
つまり、お釈迦さまは自分を神のような権威者とすることを戒め、常にその「教え」を拠り所としてほしいと考えたのです。

お釈迦さまが教えの中に説かれた「遠い過去に悟りを開き、今も人びとに救いの手をさしのべている仏さま」それが阿弥陀さまなのです。

浄土宗の仏壇 (1)

◆基本は三具足

浄土宗のご本尊は阿彌陀如来です。仏壇を祀る場合は須弥壇の中央に阿彌陀如来を祀りその右に観音菩薩、左に勢至菩薩、あるいは右に善導大師と左に宗祖法然上人を祀ります。



お祀りする阿彌陀如来は、絵像でも彫像でもよいし、形も立像、座像などどれでも構わないとされています。

仏壇の仏具を調べ、お飾りすることを莊嚴といいます。仏壇の莊嚴は宗派により異なり、仏壇の大きさなどによっても変わってきます。

基本となる仏具は三具足で、ろうそくを立てる燭台、花を立てる花瓶（けびょう）、香を焚くあるいは、線香を立てる香炉です。

それぞれが一つずつの場合には三具足、燭台と花瓶が一對ずつになると五具足と呼ばれます。年回（年忌）法要、お正月、お彼岸、お盆など特別な仏事の時には五具足を調べます。

また、浄土宗では、五具足の香炉を抹香を焚く火舎香炉とし、線香を立てる前香炉（土香炉）と線香立てを加えて七具足することもあります。

●三具足



●五具足



暮らしの中の 仏教語 「高座」 [こうざ]

寄席では、演芸を演じる場所を高座といいます。この高座の語源、お釈迦さまが悟りを開かれた金剛宝座にあり、その後寺院や説教所で講師の着く高座になったといわれています。もともと、落語や講談、浪花節などの大衆演芸は、仏教と深いかわりがあり、仏教の説教を母体として始まったものだから…。

講師の説教の場所は、聴衆のいる平座より高く設けられたところから「高座」と書くようになり、それが寄席の舞台「高座」に使われるようになったんですね。



新年開運七草粥法要のご案内

西願寺の年初めの行事として、無病息災を祈願した「開運七草粥法要」を開催いたします。

どなたでもご参加できますのでお気軽に足をお運びください。

日時 平成25年1月7日(月)



10:30 受付
11:00 新年開運
七草粥法要
11:30 七草粥サービス

参加費 無料



第3回 十三夜お月見コンサート開催報告

去る、10月12日、西願寺本堂にて第3回お月見コンサートが開催されました。3回目となった今回は、二胡奏者の野沢香苗さんをお迎え致しました。当日は、二胡の音色に参加者の方も心癒されるひと時をお過ごしになりました。

厄払い 節分会法要 (豆まき)のご案内



西願寺では、節分会法要を開催いたします。当日は、厄払い法要の後、関取による豆まきが行われます。

平成25年度に前厄、本厄、後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みご参加ください。

冥加料 10,000円(祈祷料、会食代)

日時 平成25年2月3日(日)

10:00 受付
10:30 節分会法要
11:30 豆まき

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財としてお賽銭(灯明料)をお願いいたします。



各行事の参加申し込み・お問合せは西願寺までご連絡ください

TEL.048-925-1723 FAX.048-925-1789

●お寺の鐘

毎年、大晦日になると一年の締めくくりを告げる除夜の鐘が鳴り響き、過ぎ行く年と新年の始まりに身が引き締まる思いがしますね。

お寺の鐘を梵鐘(ぼんしょう)と言いますが、この「梵」とはサンスクリット語で神聖・清浄という意味の言葉からきています。

日本最古の鐘と日本最大の鐘▶日本最古の梵鐘と言われているのは、奈良・法隆寺の金堂の背後にあるものと言われているのですが、铸造年代が明らかなものは京都の妙心寺の鐘が最も古く文武(もんむ)二年(698)と銘があります。また、日本最大とされるのは、知恩院(京都)にあるもので、江戸時代、寛永十三年(1636)につくられた重さ70トンの梵鐘です。

日本では、明治時代の廃仏毀釈運動の影響や、第二次世界大戦時の金属回収令により数多くの梵鐘が供出されました。その際、文化財指定の鐘や、特に古く貴重なものは残されましたが、四万個以上が鋳つぶされたといわれています。



掲 示 板

平成25年 年回表

年ごとの命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日を行う法要が年回（年忌）法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めします。

- 1周忌 平成24年逝去
- 3回忌 平成23年逝去
- 7回忌 平成19年逝去
- 13回忌 平成13年逝去
- 17回忌 平成9年逝去
- 23回忌 平成3年逝去
- 27回忌 昭和62年逝去
- 33回忌 昭和56年逝去
- 37回忌 昭和52年逝去
- 50回忌 昭和39年逝去
- 100回忌 大正3年逝去



彩の都メモリアルパーク 管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

平成24年12月29日(土)～

平成25年1月4日(金)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。

尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。



西願寺 平成25年 年間行事案内

- ※1月 1日(火) 修正会（新年をむかえての法要=おつとめ）
- ◎1月 7日(月) 新年開運七草粥法要（無病息災）
- ◎2月 3日(日) 厄払い節分会法要
- ※2月15日(金) 涅槃会（お釈迦さまの命日）
- ◎3月17日(日) 春の彼岸会
～23日(土)
- ※4月 8日(月) 灌仏会（花まつり）
- ◎7月13日(土) お盆会（東京棚経）
～16日(火)
- ◎8月4日(日) 合同新盆供養
- ◎8月13日(火) 旧盆会（地元棚経）
～16日(金)
- ◎8月18日(日) 大施餓鬼会
- ◎9月20日(金) 秋の彼岸会
～26日(木)
- ◎10月18日(金) 第4回十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(土) 十夜会（念仏をとなくて善根をつむ法要=おつとめ）
- ※12月 8日(日) 成道会（お釈迦さまのお悟りの日）
- ※12月25日(水) 仏名会
（念仏をとなくて一年を反省する法要=おつとめ）



毎月25日は 念仏会を開いております
◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。
※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要=おつとめです。

■お便り募集■
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思えます。また「さんが」についてのご感想もお待ちしております。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (3266) 1366
Mail: info@io-co.net

■次号予告■
次号は平成二十五年二月発行予定の「春のお彼岸号」です。



◆編集後記◆

お正月は、日本の行事の中でも最も古くから存在するものだと言われているそうです。起源の詳しくはわからないものの仏教が伝来した6世紀半ば以前より存在しているのだとか…。本来はその年の豊穰を司る歳神様をお迎えする行事ですが、時代の移り変わりと共にお正月の過ごし方はそれぞれの家によって変化してきました。正月の休みを利用して実家へ帰省したり海外へ出かけた。または家でんびりゆっくり過ごす方もいらっしゃるのでは？

でも、やっぱり一年のはじまりは神仏の前に手を合わせ今年一年の計を立てる！というのが定番で心落ち着きますよね。さて、今回のさんが新年号では浄土宗の仏壇・仏具について掲載しております。「三具足」「五具足」という言葉が出てきますが、この「具足」とはじゅうぶん満ち足りて何ひとつ欠けたものがないという意味を表します。仏壇の荘厳をきちんと整え清々しい気持ちで新年を迎えたいですね。新年もどうぞよろしくお願ひします。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部

平成25年1月 西願寺ではホームページを新たに開設します。
西願寺ホームページ <http://saiganji.jp>